

現場研修事業の概要

1. 復興道路・復興支援道路の全線開通

平成23年3月11日に発生した有史以来の巨大地震が引き起こした東日本大震災は、直接の被災地である東北地方と一部関東のみならず日本中を巻き込み、さらに世界にも影響を与える未曾有の大災害となりました。

平成23年11月21日に第三次補正予算が成立し、三陸沿岸道路が「復興道路」として、また、宮古盛岡横断道路、みやぎ県北高速幹線道路、東北横断自動車道釜石秋田線、東北中央自動車道が「復興支援道路」として、事業化されました。

○復興道路

- ・三陸沿岸道路（仙台～八戸）
（三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道）

○復興支援道路

- ・宮古盛岡横断道路（宮古～盛岡）
- ・みやぎ県北高速幹線道路（栗原～登米）
- ・東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）
- ・東北中央自動車道（相馬～福島）

東日本大震災から10年、いよいよ全線開通を向かえます。

この整備により、観光振興、物流の効率化、医療支援、地域産業の振興を支援が期待されます。



① 三陸沿岸道路 気仙沼道路「気仙沼湾横断橋」建設事業

…………… 宮城県気仙沼市



気仙沼湾横断橋は、震災復興のリーディングプロジェクトである三陸沿岸道路のうち、気仙沼道路（気仙沼中央IC～唐桑南IC、延長9km）に架かる橋長1,344m、最大主径間長360mの橋梁です。

特に、気仙沼湾に架かる区間は、「斜張橋」形式で設計されており、主塔から張られたケーブルで橋桁を支える美しい形状は、さらなる復興を目指す気仙沼のシンボルのひとつとしても期待されています。

なお、事業実施にあたり事業促進PPPを活用し、これまで発注者が行ってきた協議・調整等の施工前の業務を民間技術者と一体となって実施しました。



震災前の高田松原は、約350年前から造林された7万本の松林が広がり、三陸沿岸地域を代表する景勝地でした。15mを超える津波により、砂浜と松はほぼ消失しましたが、1本だけ生き残った「奇跡の一本松」は復興への希望の象徴として、多くの人々を勇気づけてきました。

当地では、震災により失われたすべての生命の追悼と鎮魂、震災の実情と教訓の伝承、復興へ強い意志と力の発信などを目的に、国、岩手県、陸前高田市の連携の下、面積約130haの高田松原津波復興祈念公園を整備しました。

復興祈念公園の中核となるエリアには、道の駅高田松原や東日本大震災津波伝承館、献花の場、追悼の広場、海を望む場などがあります。

3. 「3.11伝承ロード」の取組みについて

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、東日本の太平洋沿岸500kmにも及ぶ広い範囲が甚大な被害を受けました。被災地ではそのような被害の実情や貴重な教訓を伝えていくための施設が多く整備されています。しかしながら、それらの震災伝承施設は、複数の県にまたがる広大なエリアに数多く点在し、これらの情報を集め限られた時間で巡ることは容易なことではありません。そのため、目的や時間に応じて効率的に施設を訪問できるように、伝承施設情報を分類整理して提供し、案内マップや標識を設置しネットワーク化することとしています。これにより、来訪者が効果的に東日本大震災の教訓を学べる仕組みが構築され、国内外の多くの方に被災地に来ていただき、地域交流の増大も可能となります。

このように、震災伝承施設をネットワーク化する「3.11伝承ロード」は、「震災伝承のプラットフォーム」であり、地域の防災力の向上と被災地の地域振興を目指すものです。

① 高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設、東日本大震災津波伝承館…… 岩手県陸前高田市
 国では、平成26年10月の閣議決定に基づき、①東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、②震災の記憶と教訓の後世への伝承、③国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的とし、国が岩手県の設置する公園の中に、公園の中核的施設となる丘や広場等の整備を進めています。

また、岩手県でも、震災津波の事実と教訓を後世に伝承すること等を目的として、東日本大震災津波伝承館を設置しており、館内では、三陸の津波被害の歴史や、東日本大震災津波の事実、震災から得た教訓などを学ぶことができる映像上映や展示などを見学することができます。



国営追悼・祈念施設 切り通し空間



東日本大震災津波伝承館 展示室

② 気仙沼市東日本大地震遺構・伝承館 ……………宮城県気仙沼市

震災遺構（気仙沼向洋高校旧校舎等）は、被災直後の姿を留めたまま保存整備したものであり、内部も観覧することができる。震災伝承館では、映像や写真パネルにより被災の様子を伝え、復旧・復興についてはデジタルサイネージを活用して紹介する。将来にわたって東日本大震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「生きた証」である震災遺構と、防災・減災教育の拠点として整備された震災伝承館は一体的に観覧することができ、また、語り部ガイドや防災・減災体験プログラムも実施することから、訪れた人々の防災意識の向上に寄与する施設となっています。



震災伝承館



震災伝承館

校舎